

# あいちの仲間

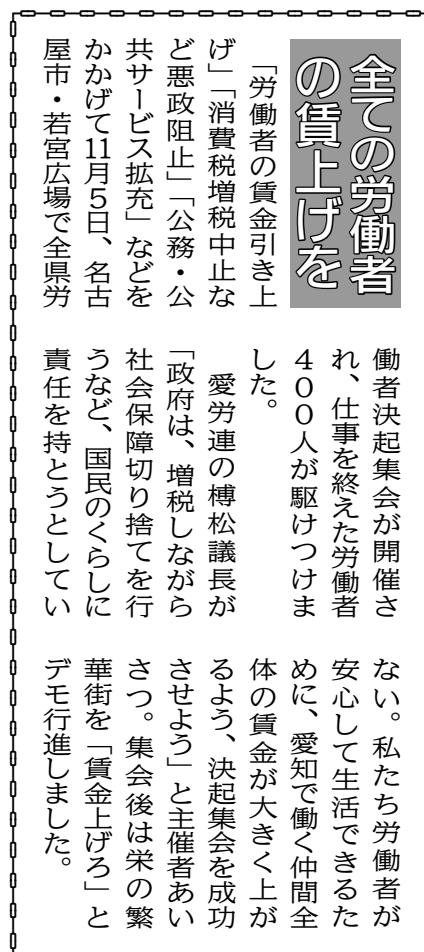
発行所 **自治労連愛知県本部** 名古屋市北区柳原三丁目7番8号  
U R L <http://www.jaichi.jp> TEL<052>916-2251  
Eメール info@jaichi.jp FAX<052>916-2308

2014. 11. 10  
No.1103

発行責任者 林 達也 定価 10円  
組合員の購読料は組合費の中に含まれています

## 2014自治労連愛知県本部 青年集会「クリ☆スパ」

とき 12月13～14日(土日)  
ところ 三河湾リゾートリンクス  
新しい若手のネットワークをつくろう☆



# 11・5全県労働者決起集会

**労働者の賃上げを行え!!**  
**消費拡大で地域を元気に**

**公務賃上げが  
民間につながる**

からは「市の賃金が上がらない」と声が出されていました。公務も地域の中小企業も賃金引き上げが必要です。

市長に言いたいです。一公務員である私たちだつて庶民だ。妻も子もいて、その生活を守らなくてはいけないんだ」と。市民と何ら変わらない私たち職員の生活を改善させて欲しいです。

# 安心して生活 できる賃金を

# 職員も庶民 “生活守れ”

に、金山・労働会館で開催  
「衛生研修会」を10月30日

### 心をそそぐハラスメントについて学習

部法律事務所の岡村晴美弁護士が「パワー・ハラスメントの事例を構造から理解する」をテーマに講演。パワー・ハラスメントやエラルハラスメントはどうやらも暴力であり、被害者を精神的に追い詰め最悪のケースでは自殺に至る事例もあることを紹介。「心がむしばまれ作業効率が落ちてミスが増え、悪循環

を強調しました。

第2講義では、全労働重支部執行委員で、労働基準監督官の古市泰久さんが「職場で活用できる労働安全衛生法の基礎知識」改正された腰痛予防対策ガイドライン」をテーマに講演。19年ぶりに改定された腰痛の対策指針について、健康診断での予防法、職場における危険回避

士で話し合おう。職員の安全のための組織体制づくりが重要」と訴えました。

参加者からは「職場で起これうるハラスマントを詳しく述べ、ボンヤリした理解がハツキリした」「事務職でも腰痛になる。職種に限らず腰痛予防の教育が必要」など感想が寄せられました。

**パワーハラで職場の生産性は低下**

自治体に働く職員の安全衛生研修会

# パワハラで職場の生産性は低下 自治体に働く職員の安全衛生研修会

ついて説明しました。



**セット共済** 安くて  
安心  
自治労連 掛金 1820円/月 病気入院 5000円/1日



非正規職員の待遇改善に向け、「7・4公務員部長通知」を学習

手当の改善で  
仲間を増やす  
**豊川**

今年度より臨時保育士  
の月給制を実現し大幅な  
賃上げを勝ちとった、豊川  
が中心となつた、にぎやか  
な荒馬踊りでスタートし  
ました。

正規職員として働く切実  
な思いも訴えられました。  
職場では非正規が正規を  
フォローする「逆転現象」  
もあり、複雑な思いがあ  
る。私たちは生活がかか  
つており、少しでも手当等  
が改善されて欲しい」と非  
正規職員として働く切実  
な思いも訴えられました。

## 子どもの権利を最優先に

子どもたちにによる保育を！ 11・3保育大集会

東京の日比谷野外音楽堂で11月3日、「子どもたちによる保育を！ 11・3大集会」が開催され、全国から3000人、自治労連愛知県本部からも38人が参加しました。

名古屋市職労の保育士が中心となつた、にぎやかな荒馬踊りでスタートしました。

情勢報告の後、各地からの活動報告が行われ、大阪の保育運動連絡会が新制度に向けたとりくみとして、子育て会議の情報を持ち、これまで有資格者で行われていた「保育ママ」が、6月議会で新制度の国基準

に合わせて『無資格者でも可能に変更する』ことが明らかになつたため、これに對して陳情書や要請行動でこれまで通りの保育を求めている」や「茨木市で独自のパパ活コメで要求を出して、上乗せ基準をつくことができた」と活動が伝えられました。

集会は最後に全保連の大宮勇雄氏より「新制度による教育は、全ての子どもたちに平等な保育を、と願うわたしたちの保育とかなり離れたもので、大人から押しつけで子どもたちを榨にはめる内容だ。子どもたち一人ひとりが主人公となれる保育制度を守らう」と呼びかけました。

集会後は会場から東京駅まで「保育を守ろう」「公的責任明確に」と元気にパ

県本部は11月1日、今年7月に総務省より出された「臨時・非常勤職員及び任期付き職員の任用等について」（通称7・4公務員部長通知）の学習会を開催しました。

通知では、非正規職員の手当支給の裁判例、「空白期間」に法的根拠がないこ

と、など現状の賃金・労働条件を改善できる内容が示されています。

学習会では、はじめに林書記長が「現状、非正規職員の待遇改善が進んでおらず、この通知は実情に応じて改善をすすめることを示すもの。非正規職員の処遇改善に活用しながら

いました。

発言では、「嘱託で一つの職場に居続けるは、正規職員より経験が長くなる。失はないこと、など具体的に示しました。

思いました。

他市の正規並みの通勤手当などを参考にしたいと思いません。同時に一人でも多くの非正規職員の仲間を増やしていきたいと思思います」と秋の組織拡大に向けたとりくみを語りました。

沖縄県名護市辺野古の海を埋め立てて建設が強行されようとしているアメリカ軍新基地

自治労連では、「新たな基地はつくらせない」の県民の総意実現をめざす、オナガ雄志氏を支援しようと10月11日から現地での支援行動を展開。沖縄に全国の仲間が集まっています。

愛知県本部は10月24日から行われた青年集

## 勤務実態をふまえた改善を

### 「7・4公務員部長通知」学習会

市職労の山口書記長にお話をうかがいました。山口さんは臨時保育士の働き方にについて「正規職員同様にクラス担任を任せられる一方で、待遇は非正規のまま。同じ仕事をしているのに“なぜ”という思いを持たれています。

今日の学習会で示された、他の正規並みの通勤手当などを参考にしたいと思いません。同時に一人でも多くの非正規職員の仲間を増やしていきたいと思思います」と秋の組織拡大に向けたとりくみを語りました。

## 新基地は必要ないが9割

### 沖縄県知事選挙支援行動

沖縄の学生などとともに中ゾーン支援行動に合流。長野や岡山、現地沖縄の学生などとともに街宣行動やシール投票でオナガ氏の政策を訴えました。

10月26日に名古屋市・若宮広場で開催され、1000人が参加。「福祉は権利。憲法を生かし、福祉予算の充実を求めよう」と大喝采を上げました。

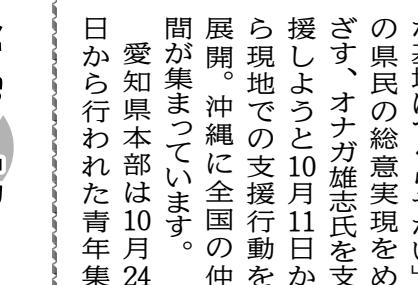
● 福祉予算削るな県民集会

“福祉は権利”

TOPICS



「基地建設NO」を訴えました



が大きな争点となつている、沖縄県知事選挙が11月16日に行われます。

自治労連では、「新たな基地はつくらせない」の県民の総意実現をめざす、オナガ雄志氏を支援しようと10月11日から現地での支援行動を展開。沖縄に全国の仲間が集まっています。

愛知県本部は10月24日から行われた青年集



ハロウィンの衣装でアピール



愛西市役所でのビラ配布の様子